



2014年1月23日

報道関係各位

株式会社クラウド・スコープ・テクノロジーズ

仮想化環境と物理環境を同時に監視・管理するツール

MoonWalker ver.3.1 をリリース

－ 監視機能設定時の利便性向上と処理能力アップ －

ITホールディングスグループの株式会社クラウド・スコープ・テクノロジーズ（本社：東京都港区、代表取締役社長：高岡利光、以下クラウド・スコープ・テクノロジーズ）は、仮想化環境をビジュアルに監視・管理する『**MoonWalker ver.3.1**』を本日リリースしました。

今回リリースする新バージョンでは、監視設定および表示機能の拡張を行いました。また、処理能力を向上させクライアント画面の起動時や編集時の操作性を向上させました。

【今回新たに提供する機能】

1. 監視設定や表示機能の拡張

MoonWalker をご利用いただいているユーザの要望に基づき、監視設定を行う際の利便性を図るための種々機能の拡張をしました。これら機能拡張により、大規模にシステム監視・管理を行っているユーザの運用負荷を軽減することができます。

今回拡張した機能項目は以下のとおりです。

- ① 計画工事終了後のイベント再通知機能
- ② 複数の監視データから計算式を利用して監視指標を作成する機能
- ③ 監視対象ノード・監視設定のコピー機能
- ④ トラップ情報詳細に含まれるトラップの内容をイベントに表示する機能
- ⑤ 「ノード監視設定」でテンプレート化されていない個別監視項目を追加する機能
- ⑥ 監視指標の閾値設定で指定範囲に値が入った場合に障害検知する機能
- ⑦ 計画工事設定のコピー機能

2. 操作性の向上

監視対象ノードや監視対象項目が増加した場合に低スペックのハードウェアでは操作性が低下する場合がありますが、プラットフォーム OS に最適化した処理構成に変更することによりクライアントの起動時や編集時の操作性を大幅に向上しました。

【MoonWalker 製品機能概要】

MoonWalker は、サーバ機器やネットワーク機器等の構成情報、障害情報、統計情報を一元的に管理・監視する統合運用監視ツールです。

MoonWalker は次のような機能を提供いたします。

《構成管理》

- サービス（業務）視点からみたシステム構成情報管理機能
- 物理・仮想サーバ/ストレージ～サービスまでの構成表示
- ウィザード画面を利用し構成情報の自動取得
- 仮想化環境および VLAN の関連性自動取得
- CDP/LLDP 対応（自動リンク構成取得機能対応）
- VLAN 自動設定（オプション）

《障害監視》

- エージェント型/エージェントレス型の監視設定機能
- イベントの相関機能にて迅速に原因分析と影響範囲を把握
- IPv6 アドレスへの死活/SNMP-Trap 対応
- IF Ping 死活監視およびイベント監視機能
- Web レスポンス監視
- VLAN の監視機能（オプション）

《統計管理》

- リソース監視の閾値管理やグラフ化機能
- 他ツールと容易に連携可能

《その他》

- 障害警報のメール通知とインシデント管理
- メンテナンス中のアラーム抑止機能（イベントマスク機能）

《標準価格》

5,000,000 円(消費税別)～

クラウド・スコープ・テクノロジーズについて

クラウド・スコープ・テクノロジーズは、次世代のネットワーク管理・監視・分析システムの開発・販売を目的に 2008 年 7 月 1 日に創設されました。ネットワーク設計やサービスの見える化技術をはじめ、SaaS/PaaS/IaaS 上の仮想システムの管理技術等の研究開発やコンサルティング業務なども行っております。

また、通信事業会社、東京証券取引所をはじめとする大規模ネットワークを保有されている企業を中心に監視システム製品（**Hexa**：監視・管理機能、**Network Designer**：プロビジョニング機能）の開発・販売を行っています。

IT ホールディングスグループについて

IT ホールディングスグループは、様々なお客様を IT で支援する IT エキスパート集団です。進化し続ける企業グループとして、グループ各社の個性を活かし総合力で応えます。

本件に関するお問合せ
株式会社クラウド・スコープ・テクノロジーズ
営業・マーケティング部
TEL : 03-3403-8321
E-Mail : cloud-info@cloud-scope.com Web : <http://www.cloud-scope.com/>